

文化情報学研究科（博士前期課程）カリキュラムツリー

		DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3
		データサイエンスの高度な知見と、対象文化領域の深い専門知識に基づいて、科学的な探究を行えるようになる。（知識・技能）	対象文化領域に対する専門的知識とそれを科学的に探究するための基礎的な研究手法を身につけることができる。（知識・技能）	異なる学問分野の知識を有機的に結合して新しい文化理解の方法論を構築する能力を持つようになる。（思考力・判断力・表現力）	複雑かつ曖昧な文化と人間に関する現象について科学的探究を完遂し、問題発見・問題解決に応用できるようになる。（思考力・判断力・表現力）	柔軟な発想のできる広い視野を有し、社会で生起する多様で複雑な諸問題に的確に適応できる柔軟な発想能力を有する。（主体性・多様性・協働性）
年次	セメスター	専門科目 専門科目 専門社会調査士認定科目 共通科目	専門科目	専門科目 専門科目	専門科目 専門社会調査士認定科目	専門科目
2年次	4	論文				シンポジウム4
	3	文化情報学研究実験Ⅳ 文化情報学研究実験Ⅲ 【専門社会調査士認定科目】 社会調査特別研究指導Ⅱ 多変量解析特別演習				シンポジウム3
1年次	2	文化情報学研究実験Ⅱ 【文化資源学コース】 映像文化研究特論2 【言語データ科学コース】 言語生態研究特論2 【行動データ科学コース】 計量社会学特論2 認知モデリング特論 【データ科学基盤コース】 多変量解析特論 データベースシステム特論 ベイズ統計学特論 数理最適化特論 【専門社会調査士認定科目】 社会調査特別研究指導Ⅰ 【文化資源学コース】 美術情報研究特論2 日本古典文学情報特論2 【言語データ科学コース】 計量語法研究特論 言語インターフェイス特論 【行動データ科学コース】 未来学特論2 グラフィック表現研究法特論2 認知システム研究法特論2		【文化資源学コース】 計量文化解析特論2 人類生態・時空間情報特論2 【言語データ科学コース】 言語計算科学特論 【データ科学基盤コース】 サンプリング法特論	【文化資源学コース】 歴史文化情報特論2 (2023年度以前生) デジタル・ストーリー特論2 (2024年度以降生) 【行動データ科学コース】 身体表現文化研究法特論2 ヒューマンコンピュータ インタラクション特論2 【専門社会調査士認定科目】 調査法特別演習Ⅱ	シンポジウム2 【言語データ科学コース】 言語コミュニケーション特論
	1	文化情報学研究実験Ⅰ 【言語データ科学コース】 言語生態研究特論1 コーパス言語学研究特論 【行動データ科学コース】 計量社会学特論1 【データ科学基盤コース】 数理統計学特論 情報アクセス技術特論 生物統計学特論 統計コンサルティング特論 時系列解析特論 アルゴリズム特論 経済統計学特論 【共通科目】 文化情報学特殊講義1~6 Strategies in English Communication1・2 【文化資源学コース】 美術情報研究特論1 日本古典文学情報特論1 人類生態・時空間情報特論1 映像文化研究特論1 【言語データ科学コース】 言語記述研究特論 言語計算システム特論 言語運用研究特論 【行動データ科学コース】 未来学特論1 グラフィック表現研究法特論1 認知システム研究法特論1 身体表現文化研究法特論1 ヒューマンコンピュータ インタラクション特論1	【文化資源学コース】 計量文化解析特論1 【データ科学基盤コース】 情報統計力学特論	【文化資源学コース】 歴史文化情報特論1 (2023年度以前生) デジタル・ストーリー特論1 (2024年度以降生) 【専門社会調査士認定科目】 調査法特別演習Ⅰ	シンポジウム1	
他研究科設置科目／高等研究教育院設置科目／関西四大学大学院単位互換科目／大阪大学大学院基礎工学研究科交流科目／外国協定大学による履修科目						

専門科目

学際的な研究能力の基礎となるデータサイエンスの高度な知見と所属コースの深い専門知識を習得するための科目です。

共通科目

日々変化する文化情報学に関する最新の知識・技能を修得するとともに、文化情報学研究に必要な英語運用能力を養うための科目です。

専門社会調査士認定科目

社会調査に関わる高度な研究方法を修得するための科目です。

研究指導科目

専門科目で習得する知識に基づいて、対象文化領域に対する専門的知識とそれを科学的に探究するための基礎的な研究手法を身につけるための科目です。

シンポジウム科目

研究発表を通して、発表技法を身につけるだけでなく、自身の研究の方向性や位置づけを明確に把握するための科目です。

論文

修士論文の作成、執筆を行います。